

祝 卒業証書授与式



西川中学校
卒業式



西川町 議会だより

2011.4.15

76

- ・ 3 月 定 例 会 2~3
- ・ 予算特別委員会での質疑応答 4~5
- ・ 一 般 質 問 6~12
- ・ 議会のうごき 13~15
- ・ 「究める・人」シリーズ No.16 16

発行 山形県西川町議会

住環境を整備

雇用促進住宅睦合宿舎を購入

一般会計、特別会計予算状況

会計		予算額	前年度増減率	採決の結果
一般会計		45億9800万円	△ 8.6%	全員賛成
特別会計	国民健康保険 事業勘定	6億8227万円	2.8%	全員賛成
	国民健康保険 施設勘定 (大井浜診療所)	374万円	0%	
	簡易水道	2429万円	△ 9.7%	全員賛成
	路線バス事業	5659万円	2.5%	全員賛成
	公共下水道事業	2億1392万円	△ 6.5%	全員賛成
	農業集落排水事業	2989万円	1.9%	全員賛成
	寒河江ダム周辺施設管理事業	403万円	6.0%	全員賛成
	後期高齢者医療	8041万円	0.3%	賛成8人 反対1人
	介護保険	6億2229万円	3.9%	全員賛成
	宅地造成事業	3536万円	711.0%	全員賛成
合計	63億5079万円	△ 5.6%		

※金額は、すべて万円未満を四捨五入して表示しています。

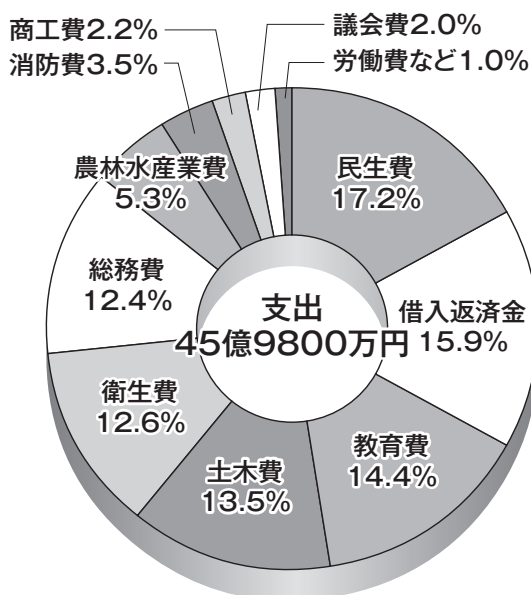
病院・水道事業会計収益的収入および支出予算状況

会計		予算額	前年度増減率	採決の結果	
病院事業	収益的	収入	7億6898万円	△ 1.1%	全員賛成
		支出	7億6898万円	△ 1.1%	
	資本的	収入	563万円	0%	
		支出	7590万円	34.4%	
水道事業	収益的	収入	1億1560万円	△ 5.2%	全員賛成
		支出	1億1560万円	△ 5.2%	
	資本的	収入	2億3810万円	△ 8.6%	
		支出	2億7384万円	△ 14.3%	

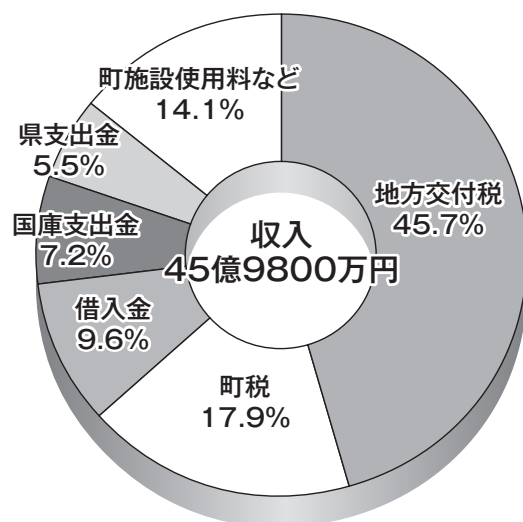
※金額は、すべて万円未満を四捨五入して表示しています。

3月2日から11日までの10日間、平成23年第1回定例会を開き、平成23年度の一般会計、9の特別会計、病院および水道事業の予算案を原案のとおり可決したほか、請願3件を全員賛成で採択し、議員が提出した意見書3件を全員賛成で可決しました。また、町長が提出した9議案を全員賛成で原案のとおり可決しました。さらに、一般会計の2億4124万円を追加し総額を57億4914万円とする補正予算案、国民健康保険など6特別会計、病院および水道事業会計の補正予算案を全員賛成で原案のとおり可決しました。

一般質問では、7人の議員が町の政治・行政について、町長の施政方針をただしました。



平成23年度 町の財源と使いみちは





町の命運をかけて 住宅団地造成に着手

平成23年度 目玉事業

◆住宅団地造成に着手
平成23年度用地購入・造成工事に1億8851万円

若者が子育てしやすい環境を整備して、人口流出に歯止めをかけていくために、学校、病院福祉施設、金融機関などに近く町内でもっとも利便性がよい役場庁舎南側の町道間沢海味線沿線に平成23年度から住宅団地を造成します。

平成22年に農地法が改正され、2ha以上の農用地を住宅団地にする場合には1年をかけて国と協議しなければならず、一刻も早く町外転出を食い止めるために一期、二期に分けて造成します。一期では約3・3ha(うち農転農用地が約1・8ha)、二期では約1・3ha(うち農用地

が約1・1ha)の合わせて約4・6haを造成します。造成・分譲を分割することについては、前号にも掲載したとおり、7人の議員が土地は一括購入すべきとしていました。さらに、今定例会に一括整備を求める請願が出され、全員賛成で採択しました。

一般質問や予算特別委員会、補正予算案の質疑のなかでも取り上げられ、「平成25年に二期の手續きを実施し26年には用地取得を進め工事に入りたい」との小川町長の答弁などもあり、補正予算案および平成23年度予算案を可決しました。【関連記事5、10、14ページ】

◆雇用促進住宅睦合宿舍購入に3608万円

定住人口の維持確保対策等のために比較的短期間の入居者用として雇用促進住宅睦合宿舍を購入します。

平成6年5月に供用が始まった同宿舎は、40世帯が入居でき、現在は独立行政法人雇用・能力開発機構で管理しています。

【関連記事5、10ページ】

◆請願を採択

第1回定例会 決まったおもなこと

○海味二本松住宅団地の一括整備を求める請願

提出者

海味区長 福島 正昭

紹介議員

松田 昌一

○脳脊髄液減少症(低髄液圧症候群・低脊髄圧症候群・外傷性頸部症候群・外傷性髄液漏れ等)の医療に関する請願書

提出者

脳脊髄液減少症友の会

代表 荒川 ミキ子

紹介議員

渋谷雄三郎

○2011年度山形県「住宅リフォーム助成制度」に関し、使い勝手の良い制度を求める意見書の提出を求める請願

提出者

県の住宅リフォーム助成制度を良くする連絡会代表事務局団体
山形県商工団体連合会

会長 遠藤 強

紹介議員

渋谷雄三郎

◆特別職の給与を削減

平成23年度も引き続き削減することに、削減後の月額は次のとおりです。

町長 65万6千円 (20%減)

副町長 57万1500円 (10%減)

教育長 54万6250円 (5%減)

◆水道の高度浄水施設整備工事 295万円の増額

平成25年3月の完成をめざして水沢地内で進めている浄水施設の整備工事について、295万円を増額し、契約金額が5億6470万円になりました。地理的な条件で基礎工事に時間がかかったために冬期間も工事せざるを得なくなり、除雪および仮設の経費を追加しました。

質疑応答

予算を集中審査しました

～特別委員会の質疑応答～

予算特別委員会

委員長 井場 榮 治



一般会計

総務企画

Q 購入予定の町長公用車の車種等の考え方は。

A 利用は遠方で仙台圏、乗車人員は最大2人程度で、大きな車でも十分です。

Q 職員派遣研修の内容は。

A 実際にまちづくりの現場を見て声にふれながら、自分でまちづくりを考える研修をします。平成22年度は北海道の栗山町などに6人を派遣しました。

Q 地域おこし協力隊とは。

A 地域づくり計画を作った大井沢地区から活動の支援要請があり、首都圏から人材を募集して活動を手伝います。

Q 地域支援コーディネーターとは。

A 各地区の地域づくり計画の作成を支援します。

Q 地域づくり交付金の考え方は。

A 地域のみなさんが自分たち

で地域を守る、自分たちで地域をつくるために、地域づくり計画を作るための交付金です。

Q 元気な職員・町民の養成を目的に開設する月山維新塾の構想は。

A 公募して実行員会を立ち上げて取り組んでいきます。

Q 第5次総合計画後期実施計画が実践できるような総合開発審議委員を選すべきでは。

A 本町を熟知し、町民のみなさんといっしょに活動できる方で、社会情勢を十分把握している方をお願いしたいと考えています。

Q 西川町総合開発(株)等に委託している水沢および大井沢温泉館等の維持管理の考え方は。

A 町の施設の維持管理と考えています。また、受託した業者が努力して収入を増やすことを目的に指定管理者制度で委託していますが、厳しい財政状況が続くなかで施設のあり方について十分検討していきます。

Q 月山湖「水の文化館」の川雑魚館の看板が見えにくいので

改修すべきでは。また、月山湖売店の看板「関の茶屋」を地名の「砂子関の茶屋」にすべきでは。

A 今後、検討していきます。

Q 女医として生涯を捧げた志田周子さんの映像化の取り組みは。

A 県との連携事業で、生誕100周年の平成22年度には大井沢地区のみなさんの協力も得ながら写真およびパネル展示などを行いました。県医師会からも地域医療の啓蒙ポスターの写真採用などで協力をいただいております。今後とも資料を収集しながら積極的に啓蒙していきます。

Q 行政ネットワークにかかる光ファイバーおよび議会中継システムの保守料として毎年399万円かかるのですか。

A できれば削減の方向で進めていきたいと考えています。

町民税務

Q 温泉利用助成の取り組みは。

A 75歳以上の申込者並びに国民健康保険の無受診者の方に海味、水沢、大井沢および志津温

泉で利用できる12回の回数券を配付するほか、単位老人クラブごとに温泉を利用した健康教室の際、無料で入浴できます。

Q 平成22年7月から中学3年生までの入院医療費が無料になりましたが、早い時期に小中学生の通院医療費も無料にすべきでは。

A 前向きに検討していきます。

Q 高齢化が進んでいる山岳遭難隊の今後のあり方は。

A 警察からの要請もあり、現在の4方面隊を存続していきたいと考えています。

健康福祉

Q 在宅のねたきり老人および重度障害者の方を1年以上介護されている方に年間1万円の激励金を支給していますが、年間6万円程度は支給すべきでは。

A 平成23年度に作る介護保険事業計画で検討していきます。

Q 近隣市町と比較して所得の中間層が高くなっている保育料

は。

を見直すべきでは。

A 園児の送迎および給食費などを含んだ保育料であり、子育て支援になっていくと考えていますが、今後、検討していきます。

Q 戦没者追悼式で祭壇等が質素になってきたと感じています。近隣市町と比較してどうですか。

A 近隣市町でも簡素化してきています。平成22年度は経費を増額して祭壇に菊を飾りましたが、遺族が孫の代になっており、遺族会と今後のことについて相談していきます。

おり、これで動いていただいで積極的に進めていきます。

Q 不妊治療の取り組みは。
A 今後とも、保健師が相談窓口となり、文書でのお知らせなど個別的に対応していきます。

Q 月山志津温泉の雪旅籠の灯りでの第1回の集いを開催した結婚支援の今後の取り組みは。
A 県および他市町と連携しながら集いを開催していきます。

産業振興

Q 発芽胚芽米月山まんま製造で町内の米農家の収入が上がるようにすべきでは。

A 現在は原料をすべて農協から購入していますが、農業継続に欠かせない集落営農で生産した米を購入できるようにすれば収入が上がるかと考えています。

Q 月山および朝日連峰登山道刈払いの取り組みは。

A 県の委託料が減額されており、財源の検討が必要ですが、地域の方や西川山岳会等のボランティアの方などいっしょに

考えていきます。

Q 六十里越街道誘客の取り組みは。

A 地域の方や鶴岡市、旅行会社などいっしょに広域的に取り組んでいます。特に今年月山志津400年祭とも連動しながら取り組んでいきます。

Q 雇用促進住宅睦合宿舎を購入する際の修繕要望の考え方は。

A 襖や畳の汚れなどの修復は雇用・能力開発機構で行いますが、外壁の汚れなどの修復は今後の要望事項と考えています。

建設水道

Q 月山湖大噴水の大規模改修の時期がくるのでは。

A 前回の大規模改修から8年が経過していますが、現在のところは部分的な修繕で対応可能です。

Q 町道梅沢根際線歩道整備事業の完成予定時期は。

A 国の交付金の状況もありますが、平成26年度完成をめざしていきます。

Q 国道沿線の花壇整備に苗代を助成すべきでは。

A 地域づくり計画を作るなかで助成する方向で検討していきます。

Q 町道の適当な時期での草刈りなどのために、現在3人の道路工手を増員すべきでは。

A 今後の町道の維持管理のあり方と合わせて考えていきます。

Q 経済情勢が悪化しているなかでの役場南側の町道間沢海味線沿線住宅団地造成の考え方は。

A 若者が住みやすい町にするために、子育て支援と合わせて住宅支援は必要と考えています。

教育文化

Q これまでの説明では、西川小学校開校に合わせて町立図書館を移設するとしていましたが、町立図書館の名称は現在のままとし、小学校図書館は一般開放とするようになった経緯は。

A 学校図書館を公立図書館とすることができないと法律で定められていました。経緯の説明が足りませんでした。

Q 西川中学校の教室にもエアコンを設置すべきでは。

A 平成23年度は校長室および職員室に設置し、教室は今後、検討していきます。

国民健康保険

特別会計

Q 重税感のある国民健康保険税を減税すべきでは。

A 広域化の方向性が検討されている時期でもあり、慎重に検討する必要があります。

Q 国民健康保険資格証明書の発行をやめるべきでは。

A 制度上の上のものは守るべきと考えています。

宅地造成事業

特別会計

Q 役場南側の町道間沢海味線沿線住宅団地造成の一括整備を求める要望書を提出された方に分割分譲とする説明をすべきでは。

A 提出されたときにも説明しましたが、さらに今後、説明していきます。

元気ある町にするためには

町長…町民と議論の場をもち、町民参画、地域づくりを支援します



婦人教室



松田昌一 議員

4年前の町議選では、「元気あるまちづくり」を公約に掲げ、若者が住めるまちづくり、林業木材産業の復興、農業の振興、シルバークワールの活用を訴えました。

平成22年国勢調査の速報値が町報2月号に掲載され、人口は6269人で前回調査と比較し9.4%減少しています。1年間では約140人減少しています。この減少傾向が続けば52年後に本町の人口がゼロになってしまいます。感想は。

定住人口減少の歯止めを課題とし、若者流出を止めることや産業振興は歴代町長の課題でもあり、また尽力されてきたことです。産業振興、定住基盤整備、子育て支援など第5次総合計画後期実施計画にもとづき町民との協働で取り組んでいきます。

平成23年度予算は、定住人口を確

保する元気な地域づくり予算とし、人口流出ストップ、若者が暮らせるまちづくり、女性の声を町政にの実現をめざすとしています。

一、若者定住の具体的施策は。

具体的には平成23年度予算に計上していますが、職場および雇用については、農林業振興、商工業支援、観光振興をはかり、定住環境では、若者の生活状況に応じた雇用促進住宅、合宿舎の購入、公営住宅整備、長期賃貸住宅整備、一般分譲を早期に進め、子育て、通勤環境を充実します。

二、新卒者の就職先の確保対策は。

町内に雇用の場があることに、人口の定住化、町内経済活性化に結びつくと考えています。具体的には、新規学卒予定者を対象に夏休み期間を利用した短期の企業体験や新規学卒者を雇用した事業所に対しての支援を考えています。

三、元気ある町とは。

「西川町を元気にしたい」という強い思いがあります。町民への情報提供と町民との議論の場を多くもち、それを施策に反映したいと考えています。このため、情報提供の充実と町民参画の仕組みづくりを平成23年度から取り組み、地域づくり計画策定を支援し、これを町政に反映していきます。



住宅団地造成予定地

人口減少カバー策として、 観光交流人口の増大を

町長…「食」「歩く」「温泉」「癒す^{いや}」をキーワードに、町内資源を活用した事業の取り組みを考えます



宮林昌弘 議員



月山志津温泉雪旅籠の灯り

今回の国政調査速報によると、本町人口は6269人で、5年前に比べ648人減少しました。国民一人あたりの年間消費額は121万円といわれ、本町の人口減少による消費減退を観光交流人口でカバーするには、町内宿泊旅行者で1万4256人、日帰り旅行者で約5万人を確保する必要があります。交流人口を増やすことは、町内経済を活性化する経済効果があります。

観光立町をめざし、観光を主軸に農工商が連携し、総合産業化を推進することは、重要な施策ですので、次の質問をします。

一、近年の観光交流人口の実数はどのように推移し、伸び悩んでいる原因、課題をどう捉えているか。

観光交流人口100万人を掲げ、誘客の取り組みを行っていますが、平成13年をピークに減少傾向にあり、現在は80万人前後で推移しています。

旅行形態が、見る観光から体

験型観光へと大きく変わってきており、町としても農業資源を活用するなど他産業と連携しながら取り組んでいきます。

二、大課制を見直し、商工観光課の独立化、月山朝日観光協会の体制強化、商工会事務局長が不在になるなど商工観光行政の弱体化を防ぐべきと考えるが、

商工観光業に関連する団体は、それぞれの目的をもって運営されていますが、社会ニーズが変化するなかで、これまでと違った対応を求められる場合が増え、町としても連携して諸課題に取り組んでいく必要があると考えています。

商工観光行政の組織強化については、現状を踏まえて検討していきます。

三、高速道路無料化の問題点をどう分析し、次年度対策を考えているか。

高速道路の無料化により町内飲食店を中心に経済的に大きな影響を受けていますが、最大の課題は本町に立ち寄ってもらう魅力づくりだと思っています。

高速道路があることを優位と捉え、山菜を活用した本町ならではの食づくりなどに積極的に取り組んでいきます。

四、本町は自然豊かで景観に優れ、温泉もあり、癒しの場が多く、滞在型観光で月山健康院構想を実現できる町であると思うが、観光的、健康的視点でどう考えているか。

観光と健康を結びつけた考え方は、重要な視点と認識しています。健康づくりは誰でもが関心事であり、「食」、「歩く」、「温泉」、「癒す」をキーワードに月山をはじめ町内の資源を活用した事業の取り組みを考えています。



山形自動車道西川本線料金所

若者定住促進のための具体策は

町長…産業振興、定住環境の整備、子育て支援を総合的に推進します



卒園者を送る園児



渋谷 雄三郎 議員

依然として人口減少がとめどもなく続いていますが、この現象を止めるためにどのような施策を行うのか。
特に、若者定住のための施策をどのように考えているか。
若者定住促進のために雇用対策、子育て支援、住環境の整備など思い切った施策の展開が必要なのでは。

定住人口対策は産業振興と定住環境整備と考えています。産業振興では、農業での作物の付加価値づくり支援、商工業では商工会等への事業支援、企業の雇用支援など、住環境では、住宅団地の整備、雇用促進住宅

陸合宿舍の購入、公営住宅・長期賃貸住宅の建設も行っていきます。子育て支援では、結婚支援から育英奨学制度まで総合的な支援策を考えていきます。

重税感のある国民

健康保険税の減税を

国民健康保険税の滞納状況をみると、重税感があると思われるが、その原因をどう捉えているか。

制度の違いがあるとはいえ、社会保険等と比較すると、重税感をもつのも無理のないことだと思います。滞納の原因はいろいろですし、重税感をもたれる要因には、課税方法が今日の社会経済の実態に合っていないのかなど、今後検証する課題もあると考えています。

国民健康保険滞納者へのペナルティである資格証明書の発行は、命取りになるのでやめるべきでは。朝日町、最上町、遊佐町および最上広域連合では資格証明書を発行していません。

資格証明書の発行は、個別世帯の状況をできる限り把握して判断していますし、診療中の方や子どもがいる世帯には十分配

慮しています。保険制度を維持していくためには、定められた負担義務を果たしていただくことが大原則であり、やむを得ない措置と考えます。

約2億4千万円の多額の基金を取り崩し、国民健康保険税の減税をすべきでは。

本町の国民健康保険会計の現状では、国民健康保険税を減税する余裕はないと考えています。現在、国民健康保険の広域化の問題がにわかに動き出しています。その内容によっては、国民健康保険税の引き上げの可能性があり、今後、本町に不利な制度改正にならないよう主張していくべき課題です。

国民健康保険被保険者資格証明書	
交付年月日 有効期限	交付 まで
記号	番号
世帯主 氏名	
生年月日	
住所	
保険者 保険者番号 並びに保険 者の名称及 び印	
<small>注意事項</small> 1 この証で滞納を免れるためには、滞納費用の全額を払ってください。 2 滞納期間満了後に滞りなく納付を済ませた場合は、必ずこの証をその窓口で返してください。 3 滞り続けている滞納期間が満了した場合は、滞納金額を交付します。 4 資格書の種類は滞納が払込まれたとき、滞りなく納付された滞納期間の満了日以前に交付されたものとすることができるとはならず、滞りなく納付してください。 5 滞納期間の満了がなくなりたときは、必ず、この証を交付する窓口で返してください。また、滞納期間が満了する際は、この証を返してください。 6 この証の滞納期間が満了したときは、14日以内に、この証を納めて滞りなく納付してください。 7 有効期限を過ぎたときは、この証を使用することはできません。滞りなく、滞りなく納付してください。滞りなく納付してください。	

今冬の大雪による問題点の解決策は

町長…毎日パトロールを実施し、危険箇所の除去に努めています



池上 博 議員



町道の除雪

今冬の大雪の影響で、本町でも一人暮らしのお年寄りが亡くなりました。深い悲しみを覚え、哀悼の意を表します。事故発生の問題点を考える必要があるのでは。

また、住宅密集地の道路除排雪が進まず生活に支障をきたしており、解消策が必要なのでは。

地元管理の用水路に落ちるといふ事故により亡くなったことについては誠に残念です。

一人暮らしの高齢者は、常日頃、町内会の方々や近所の方、民生委員の方々に見守っていただいでいます。今後もこれまで以上に見守り体制を充実するなどの対策を講じていきます。

町道の除雪については、除雪計画にもとづいて努力しており、また、職員によるパトロールを毎日実施し危険箇所の除去に努めています。生活道路については、区長、町内会長からの要請に応じて対応しています。

生活に支障をきたしている場合、どのような状況なのか、その都度ご連絡をお願いします。

大雪による西川小学校への影響

大雪で問題点が表面化しているのが西川小学校です。

低学年棟の屋根の積雪が1月初旬で1・5m近くに達し、緊急に要請を受けた地元の方21人で雪を下ろした事実をどう捉えているか。

低学年棟は設計荷重460kgで、2m以上の積雪に耐える構造となっていますが、当時、吹き溜まりや雪庇の張り出しも大きく、その後も降雪が予報されていたことから、町が雪下ろしを判断し実施しました。今年の積雪は豪雪対策本部を設置するほどであり、西川小学校だけ特別に行ったものではありません。

西川小学校の校舎と寒河江川との間に安全柵を取り付けた場合、スペースが狭く、排雪のための重機利用が困難なのは。

安全柵は平成23年度施工予定ですが、今回の体育館等からの落雪状況を見ても、安全柵設置箇所までは余裕もあり排雪スペースも確保できると考えています。

校舎の木製サッシの窓ガラス

の多数の雪囲いの格納庫と、昇降口の屋根からの落雪が問題になっていきますが。
また、今冬を過ごしての概算の暖房費は。

雪囲いは、一部は鋼製の雪囲いを設置しており、そのほかは積雪状況を見て平成23年度に対応することとしていますので、今年の豪雪と例年の積雪を考慮して検討します。昇降口の出入口は平らな屋根で安全性は十分確保されていると考えています。
暖房費については、今冬の灯油代は93万3千円の予算であり、開校後は概算で約450万円の見込みです。



冬の西川小学校

住宅団地造成用地の一括購入、 一括整備に対する町長の考えは

町長…一括整備は手続き上、困難であり、2期分の手続きは平成25年度に行う考えです



住宅団地一括整備請願書を提出する海味地区のみなさん



井場 榮治 議員

住宅団地造成用地を一括購入し、一括整備するよう議会には請願書が、町長には陳情書が提出されていますが、これに対し町長はどう対応しようとしているのか。

町の重要事業と捉えており、手続き上2haを超えれば国協議となり約1年を要することから、早急な取り組みとして実施するため県の許可となる2ha未満の造成を一期分として進めます。一期分を早く実施し、町営住宅建設についても早く進めなければなりません。

一括購入の検討もしましたが、事務手続き上の問題もあり一期分の用地購入および工事を速やかに進め、平成25年に二期分の手続きを実施し26年には用地取得を進め工事に入りたいと考えています。

雇用促進住宅睦

合宿舎を運営できるのか

雇用促進住宅睦合宿舎を購入して本当に運営していけるのか。将来お荷物にならないのか。

また、大規模修繕についてどう考えているのか。行う場合、財源はどうするのか。

購入の基本的な考えとして、現在、住居に困窮している方など比較的短期間の入居者用として考えています。

家賃をもって維持管理費に充当することになりますが、他市町などを調査しますと6〜7割の入居数を確保すれば、ある程度の低料金でも運営していけると思っています。

雇用促進住宅睦合宿舎を購入するにあたり本来ならば、買収費、維持費、修繕費を精査し、入居者の動向等を把握したうえで予算を計上するのがあたりまえであり、購入が先決で、購入



雇用促進住宅睦合宿舎

してから調査する町長のものこととの判断は逆なのではないか。

譲渡価格については、建物の所有者である雇用・能力開発機構の鑑定にもとづき示されている価格です。

維持管理についても、現在の管理費をもとに算定しており、大きな差異はないと思っています。これまでの機構からの聞き取りや現地調査を行ったうえでの判断です。

町のイメージアップ策は

町長…印象を良くすべく努力します



古澤 俊一 議員



高齢者大運動会

新たに造成する住宅団地を町外の方から購入していたために

NHKの気象情報で、本町の気温が低く表示されているのではと町内外の方から言われます。観測所を町内の平均的な気温の地点に移すとか、他市町の気象情報を報道するとかできないか。

21年度32人、22年度は1月末現在で23人となっています。高齢化率は第4期介護保険事業計画で推計した見通しでは平成24年で33・7%、26年には34・7%と推計しています。

水が豊富な水源の町として

近年、外国人が国内、県内の山林を買収しています。水をベースにいろいろな事業を行っている町として、以前に本町で発生した養魚場移転補償問題などに願っています。

番目の設置状況ですが、本町の設置状況は、また、安全安心な町として設置促進をはかる施策は、

現在の正確な設置率はまだ把握していませんが、おおよそ60%程度と推察しています。

現在、西川町住宅用火災警報器幹旋事業を行なっていますが、消防団による春の防火巡察時に設置率の把握と未設置世帯には勧奨を行う予定です。

アメダス観測地点は気象統計や予報・注意報・警報等の確率を高める位置に設置されているもので、簡単に変えることはできないようです。現在、西川町と表示されている観測所名を、西川町大井沢に変えていただくよう気象台に申し入れを行っています。

県内トップの少子高齢化率の今後の推計は、

ここ数年の子どもの出生数は平成19年度47人、20年度40人、

山林は現在の法律上、誰でも売買できる状況なので、ルールづくりが早急に必要なかと思っております。今後、県、国に対して法整備の要望をしていきます。

火災警報器設置義務化まで2か月あまり

本町では、75歳以上の高齢者のみの家庭に火災報知器を配付しました。本県は全国で39



住宅用火災警報器

「西川町を元気に」のまちづくりの重点施策は

町長…小学校、住宅団地、交付金事業、生活活動への支援の充実をはかります



青山知教 議員

新年度の重点施策、町を元気に、若者と女性を大切にを予算にどう反映しているのか。また、昨秋の地区座談会での意見集約と総括の結果、具体的な取り組みは。

重点施策は、地区座談会などを経て後期実施計画を策定し、おおむねこれにもとづき予算の編成を行いました。おもなものは、西川小学校建設、住宅団地造成、雇用促進住宅睡合宿舎購入、社会資本総合交付金事業など、また、町民

や各種団体の生活や活動面への支援などソフト面の充実もはかっています。

地域支援職員派遣事業が5年経過しましたが、成果と今後の対策は。

これまで地域力調査や廃校利用の意向調査などを実施し、地域づくり協議会

で事例発表や地域力調査結果による問題点などの確認を行いました。平成23年度は、各地区で地域づくり計画を策定していただき、計画および進捗状況などをお聞きしたいと思っています。

今冬は記録破りの豪雪となり、痛ましい死亡事故や負傷事故、家屋および農業施設の損傷が多く発生しました。

雪に強い生活居住空間には流雪溝の整備が重要ですが、計画と問題点、進捗状況などは。

また、除雪されていない生活道路の今後の対策は。

流雪溝は22か所あり、現在、県や町が3か所で工事を進め平成23年に完成予定です。今後5か所が計画されていますが、水利の確保ができれば事業を進めていきます。

生活道路の除排雪は、豪雪対策本部が設置された場合、区長、町内会長からの要請があれば対応することとしています。



高齢者世帯への雪下ろしボランティアは大きな力ですが、今後の対策も展望する時期では。

これまでも民生児童委員、除雪ヘルパー派遣事業、ボランティア等により事業を進めてきました。今後については、いろいろな方法を考えて進めていきたいと思いますが、現時点では現在行っている事業のやり方が最良ではないかと考えています。



3月定例会傍聴席

議会のうごき

常任委員会

産業建設常任委員会

2月3日

◆町内商工業の実状調査

従業員を大切にしたい企業経営

おもにミカンなどの柑橘類の缶詰を製造している(株)五百川屋商店(沼山)を視察しました。

同社では、町内16人、町外38人の合わせて54人が働いており、5年ほど前から毎年3人程度を採用しています。新しい方が入社すると専門の教育係の方が指導し、辞める方はほとんどないとのこと。

代表取締役の鈴木晃さんから「弊社の得意商品は、みつ豆とあんみん豆腐であるが、オリジナル商品として、ナメコやタケノコなどの山菜を缶詰にした月山印の商品もあるし、まとまった量であれば受注製造もやっている。町内の小学校や公共施設でも使ってほしい」との話がありました。



(株)五百川屋商店

誘客のための食の魅力づくりを

町内商工業の実状について、西川町商工会および産業振興課から説明がありました。

商工会および産業振興課からは「小売業では、商店が少なくなっていくなかで、後継者不足や高齢化などの問題がある。しかし、これまでは個々に商売をやっていたが、プレミアム付商品券発行事業や月山ふれあいカード事業の取り組みで、それぞれの商店が一つにまとまりつつある。さらに、建築業でも新た

にリフォームを手がけていこうとしている」「平成22年6月から始まった高速道路無料化社会実験事業の影響で、国道112号の交通量は事業実施前の32%までに激減した。一方、高速道路は188%と増加し、全体では町内を通る交通量は増えている」などの説明がありました。

意見交換では、「いきいき直売所の昨年夏の売り上げが例年の50から60%であったが、キノコが出た秋には伸びた。誘客には、月山山菜そばのような食の魅力づくり、特に若い方をも引き付けるような食の魅力づくりが必要なのではないか」などの意見が出されました。

3月8日

請願の審査

3月定例会で付託された次の請願を審査し、全員賛成で採択としました。

○海味二本松住宅団地の一括整備を求める請願

○2011年度山形県「住みやすいフォーラム助成制度」に関し、使い勝手の良い制度を求める意見書の提出を求める請願

総務厚生常任委員会

3月8日

請願の審査

3月定例会で付託された次の請願を審査し、全員賛成で採択としました。

○脳脊髄液減少症(低髄液圧症候群・低脊髄圧症候群・外傷性頸部症候群・外傷性髄液漏れ等)の医療に関する請願書

広報公聴常任委員会

西川町議会だより(76号)の編集

3月8日(編集会議)

3月25日(レイアウト会議)

4月4日(初校)

4月8日(二校)

4月12日(三校)

議会運営委員会

2月22日

第1回定例会(3月2日～11日)の運営について決定しました。

議会のうごき



議員・議会職員と幹部職員

議会全員協議会

■ 2月18日

町立病院の火・木曜日の午後診療を休診、午後診療日の受付は午後4時まで

町立病院の午後診療の変更などについて、町から説明がありました。

町では、町立病院の業務の効率化をはかるために、4月から火曜日および木曜日の午後診療を休診とし、月曜日、水曜日および金曜日の午後診療の受付終了時間を、これまでの午後4時30分から午後4時に変更しました。ただし、急患の方については午後休診日や受付終了時間にかかわらず診察を行い、医療サービスが低下しないように配慮していくとしています。また、患者の減少が続いている岩根沢小山および大井沢診療所について、存続させることを基本としながらも、岩根沢および小山診療所は月1回、岩根沢診療所は第3木曜日、小山診療所は第1木曜日の診療としました。

早急に住宅団地を造成するために造成・分譲を分割

役場庁舎南側の町道間沢海味線沿線の住宅団地造成について、町から説明がありました。

これまで町では、若者の住宅建築にとつて厳しい情勢にあるために、住宅団地造成の用地も必要部分を購入し、事業の進捗によって拡大していく分割分譲を進めるとしていました。

さらに、この日、平成22年に農地法が改正され、2ha以上の農用地を住宅団地にする場合には1年をかけて国と協議しなければならず、一刻も早く町外転出を食い止めるために、2ha以下で一期分を造成し、その後、早めに二期分の用地を購入し造成するとの説明がありました。そのために、町では、3月補正予算に一期分の用地購入費を計上し、今年の刈り取りが終わるのを待って造成工事に入り、平成25年4月から分譲を開始したいとしています。

■ 3月8日

住宅新築に最大120万円を助成

平成23年度新規事業の住宅建築支援事業について、町から説明がありました。

町では、住環境の整備、地元関連業界の振興、消費需要の拡大および景気浮揚、定住促進をはかるために、平成23年度から町内に居住する方の住宅新築、増改築、修繕の経費を助成します。

助成の対象は、自ら居住する一戸建て住宅、店舗等の併用住宅および自ら使用する車庫物置等の新築、増改築、修繕で、対象要件は、町内の建築、建設業者等と契約すること、さらに町税の滞納がないことです。

助成金の最高額は、住宅の新築の場合は80万円、住宅の増改築および修繕、車庫物置等の場合は30万円です。さらに町では、町内製材業者から西山材、県産材、国産材を購入した場合は30万円、雪に配慮した屋根の場合は10万円、それぞれ上乗せして助成するとしています。

国民健康保険の広域化に本町は反対

国民健康保険の広域化について、町から説明がありました。

現在、国民健康保険は市町村が保険者となり運営していますが、県では、小規模保険者の財政安定化、保険税の平準化をはかるために広域化を検討しており、9月までに方向性を決めたいとしています。

町では、保健事業に取り組んで医療費抑制に努め県内でもっとも低くなっている本町の一人あたりの保険税が、広域化で大幅に引き上げられることが考えられ、広域化には反対であるとしています。

バスの格納に小学校のピロティを利用

平成24年度の西川小学校開校後のバス格納場所等について、町から説明がありました。

町では、現在11台のバスが16台になり、格納場所として上間沢地内のバス車庫、水道管理センターの車庫および大井沢支所の車庫のほか、水沢、川土居および大井沢小学校のピロティ（体育館の下）、西川小学校のところに新築する車庫を予定しています。また、平成23年度にバス9台を購入するとしています。

自治功労表彰

農業振興農用地759ha

国道112号で大規模雪崩

農業振興地域整備計画の見直しについて、町から説明がありました。

町では、法律の改正、高齢化や担い手不足など農業を取り巻く情勢に対応し農業振興の農用地を確保するために、農業者のみなさんと整備計画を見直し、農業振興地域が5670ha、農用地が759haになりました。

2月27日に山形自動車道月山インターチェンジ付近の国道112号で発生した雪崩の状況および対応について、町から説明がありました。

町では、3月7日、山形河川国道事務所長から雪崩の状況の報告を受けました。雪崩は5千mの雪が国道をふさぎましたが、3月6日からは、監視小屋に伸縮計やカメラを設置し、警備員

全国町村議会議長会表彰

■ 議会議員在職27年以上



澁谷 雄三郎 副議長 (27年8か月)
7期28年、町民の支えのおかげです。感謝申し上げます。

■ 議会議員在職15年以上



黒坂 久一 議長 (15年8か月)
町民のみなさんが力となり、務められたものであり、感謝申し上げます。

山形県町村議会議長会表彰

■ 議会議員在職11年以上



佐藤 征男 議員 (11年8か月)
皆様のおかげで受賞できました。生涯の良き思い出になります。

(年月数は平成22年12月末日現在)

が誘導しながら、国道112号は日中通行が可能になり、さらに3月22日からは終日通行が可能になりました。一方、山形自動車道は通行止めが続いています。(3月26日開通)

小児肺炎球菌、ヒブワクチンの町内での接種は異常なし

小児肺炎球菌およびヒブワクチン接種の現状について、町から説明がありました。

町では、小児肺炎球菌およびヒブワクチンを同時に接種したゼロ歳児が全国で4人死亡したために、3月4日から原因がわかるまで接種を見合わせています。また、町では、町内で2月末までに接種した方は10人いますが、現在のところ異常はないとしています。

3月22日

東日本大震災で停電障害と燃料不足

3月11日午後2時46分に発生した東日本大震災の本町の状況および対応について、町から説明がありました。

本町の震度は4で、地震発生と同時に町内全域が停電の状態になりました。町では、町の施設への被害状況、ケアハイツ西川の人的および施設への被害状況を確認するとともに、要援護者の方の安否および被害の有無を訪問して確認しました。その結果人的被害はありませんでしたが、水道では、漏水と停電により一部地区で給水車対応し、大井沢地区では減水供給となり

本紙 入選!



第16回山形県町村議会広報コンクールで「西川町議会だより」が入選しました。昨年は同コンクールで佳作を受賞しましたが、入選は初めてです。これからも町民のみなさんに議会の様子をわかりやすくお届けします。

ました。下水道では、ポンプアップしている箇所をバキューム処理し、また、電話が通信不可になりました。さらに町民生活に欠かせないガソリン等の燃料が不足しました。

未曾有の大災害であるために町では、3月15日、災害対策本部を設置、翌16日には、避難された方を受け入れる避難所を西川交流センターあいべに開設し、入湯税を免除するなどして支援していくとしています。

東日本大震災で被災された皆様に哀心よりお見舞い申し上げます。

本町議会では3月22日、財団法人山新放送愛の事業団を通じて被災された皆様に義援金を贈りました。



作詞

人生、ふるさとを歌に

荒木良治さん(84歳)
(沼山第1町内会)



夏の日や青葉の上に陽が光る

砂子関で生まれ育ち、月山沢尋常小学校5年のときに詠んだ俳句です。俳句に造詣が深い担任の先生からほめられ、内心うれしかったのを思い出します。このことが作詞の原点となりました。

復員後の昭和23年から60年まで東北電力(株)に勤めましたが、37年間の勤務のうち半分は庄内地方を中心に単身赴任の生活で、「孫」の歌詞に取り入れました。

昭和26年の結婚を機に、同人誌に歌詞を投稿するようになりました。そこで出会ったのが「銀座の恋の物語」を作詞された大高ひさを先生で、生涯を通じての師匠です。先生から努力をほめられ自信ができました。

作詞は、寝る前に構想を描いて、目覚めとともに言葉にします。布団のなかで仰向けになりながら、四つ折りにしたカレンダーの裏に一気に書きまします。

大泉逸郎さんが歌う「孫」は、みなさんのおかげで大ヒットさせていただきました。平成11年に発売し、12年には日本レコード大賞優秀作品賞をいただきましたが、書き上げたのは6年6

月、孫の鯉のぼりが庭先で勢よく泳いでいた季節です。大泉さんに孫が生まれ、依頼があつて作詞しました。大泉さんとの出会いは昭和64年、松尾芭蕉の奥の細道紀行3000年を記念して歌詞を募集したことです。県内では一番だろうと密かな自信はありましたが、最優秀賞に選んでいただき、曲は大泉さんの曲が採用されました。大泉さんとコンビでの作品は20曲を超えます。

孫は生まれてはじめて、かわいさがわかります。平成12年の大晦日、自宅で2人の孫とNHK紅白歌合戦で「孫」を歌う大泉さんに声援を送りました。孫たちは現在、埼玉県で生活していますが、正月や夏休みに帰省し、帰るときにはいつも「次いつ来る」と聞いてしまいます。



孫の歌碑 (沼山・高瀬橋付近)

76号の表紙

思い出を胸に
旅立ち



3月16日に行われた西川中学校の卒業式。炎天下の下、全力で競った体育祭、練習を重ね心一つに歌い上げた西川中祭など多くの思い出を胸に、54人の卒業生が巣立ちました。

西川中学校は平成14年の開校。校章は、ミスバショウの花と葉、中央に日輪を配し、春先のミスバショウのような清涼さをもちながら盛夏のたくましい葉のごとく21世紀を生きてほしいとの願いが込められています。

編集後記

第1回定例会の最終日の3月11日は、忘れられない日になりました。議会が終わり帰路についた午後2時46分、震度4の地震に襲われました。

マグニチュード9という日本では千年に一度の巨大地震で、3月25日現在、2万6千人を超える死者と不明者が出ている大災害です。

被災された皆様に哀悼とお見舞いを申し上げます。

この現状に対して議会人として何ができるのか、一刻を争う行動を起こすことが必要だと思います。避難民の救済、食糧物資の援助、人員の派遣等やれるものから実行していくことです。

これからは一町民として、一日も早い復興を願ひ、これまでのご支援に感謝申し上げます。

(松田 昌一)

発行・編集責任者

議長 黒坂 久一

《編集委員》

委員長 宮林 昌弘
副委員長 古澤 俊一
委員 青山 知教
委員 松田 昌一

議会へのおさそい

皆さん傍聴してみませんか

次回定例会は
6月です